



新型インフル発生

「人から人」感染懸念

WHO警戒水準、初の「4」 世界的大流行も

政府が対策本部

【ジュネーブ27日共同】「3」から、豚インフル
メキシコや米国で発生し
た豚インフルエンザの人
への大量感染を受け、世
界保健機関（WHO）は
二十七日、世界の警戒水
準（フェーズ）を現行の
「3」から、「4」に初
めて引き上げた。新型イ
ンフルエンザ発生を認定
したことになる。日本を
含む各国に感染が広が
り、世界的な大流行となる
恐れがある。
これを受け日本政府
は、麻生太郎首相を本部
長とする対策本部の設置
を決めた。検疫強化をは

じめウイルスの国内侵入
防止と在外邦人支援の対
策を進める。
米国やメキシコを中心
に、国際的な人の移動が
制限されるとみられ、景
気低迷にあえぐ世界経済
への影響が懸念される。
WHOは二十八日に開
く予定だった緊急委員会
を前倒しし、二十七日に
開催、警戒水準引き上げ
を決めた。水準引き上げ
は二十五日の緊急委員会
でも検討したが「さらに
情報が必要」と見送って
いた。
ワクチン開発には半年
程度かかるとされる。
二十世紀には三回のイ
ンフルエンザの世界的流
行があり、一九一八年発
生の「スペイン風邪」で
は世界で約四千万人が死
亡した。



27日、マスクを着け、メキシコ市からシカゴ空港に到着した人たち

(AP共同)

海外での発生確認

- 発生国からの入国を空港・港の計7カ所に限定し検疫
- 入国者の健康監視、発生国からの外国人の入国制限
- 発生国に滞在する邦人の帰国支援、発生国への渡航自粛勧告
- 新型ウイルスに対応するワクチンの開発・生産要請

国内での患者発生初期

- 患者は感染症指定医療機関に入院
- 抗インフルエンザウイルス薬の予防投与
- 患者発生地域の学校休校、会社の事業縮小、外出自粛要請
- 発生地域が離島などの場合、地域封鎖を検討

感染拡大・まん延・回復段階

- 抗インフルエンザウイルス薬の予防投与見合わせ
- 新型ウイルス対応ワクチンの接種
- 市町村は高齢者ら社会的弱者に食料提供などの支援

政府の対策行動計画に基づく新型インフルエンザへの主な対応